

## ふれあい通信

しあわせの村仮設住宅自治会発行

ふれあいセンター ☎ 078-743-9868

## 仮設暮らしで

夢にも思わなかった大震災。神戸には地震がないから良いと思っていたのに…。

一瞬にして家も店も失い、茫然自失の状態でしたが、幸いにしてしあわせの村の仮設に入居できて本当に良かったと嬉しく思っています。

地震後は二人とも入院、また怪我で通院していました。でもここに入居してからは、景色も空気もよくお蔭で一日も寝込むこともなく過ごしています。しあわせの村の名前どおり幸せになろうと決意しました。そしてふれあいセンターができ、土曜日のふれあい喫茶のお手伝い、当番、月二回の民踊とだんだん楽しくなりました。また昨年五月には金婚式にも参列することができました。

自治会では岩本副会長さん、警察の小笠原さんはじめ役員の皆さんが本当に献身的に多忙な用事を処理して下さいます。数々のボランティアさんに支えられ、励まして頂き感謝しています。人の前に灯りを灯せば我が前もあかるい、との言葉があります。

震災で生き埋めになり、いまだに足腰の痛む方、先々の不安の高齢者の方たちと、お互いに励ましあって愚痴もなくなりました。人生何事があるかわかりません。あらゆる苦難を乗り越えて強く生き抜くことが大事だと思います。

お蔭様で思いもかけず自宅再建の運びとなりもうすぐ完成します。お別れも近づいて参りました。皆

さまどうぞ明るく前進し、心身共に幸せに過ごされま  
すよう心よりお祈りしています。本当に有り難うござ  
いました。  
(四十七棟 一号 福島 笑子)

## 私のひとりごと

梅の花もアチコチで咲き出したと思ったらもう桃の節句も間近に…。

花屋さんの店先に立てば、色とりどりの春の花がみ  
られ、まだまだ寒い中にもなにかしらほんわかとした  
気持ちにさせてくれる今日この頃です。

この仮設で暮らし始めて二度目の春を迎えるのです  
が、始めの頃は心細く、どうなって行くのかと思いま  
した。けれどだんだん近所の方々とも親しくなり、  
またふれあいセンターが出来て、いろいろな行事にも  
参加させて頂くようになり、忙しいけれど毎日を張り  
合ひのある気持ちで送っております。

これも傍から色々支え、励まして、導いて下さる  
方々のお蔭と感謝しています。

いつの日か、此処を出て新しい生活に入って行くの  
ですが、早く住宅が当たって欲しいと望む方々、いざ  
となるとまた皆さん方と別れがたい思いもあり、何か  
と複雑な気持ちです。

せめてこの仮設にいる間、皆さん、せつせとセンタ  
ーに足を運んで少しでも楽しい思い出をつくりましょ  
う。そしてお互い健康に気をつけ、希望を持って前向  
きに、もう後を振り返らないで、頑張って行きましょ  
う。  
(十九棟三号室 中谷 房江)

## 趣味の会だより

### 大正琴の稽古はじまる

一月二十日、大正琴の初稽古を見学しました。十時、センターのテールの上には新しい大正琴が六面並べられ、有元先生（リハビリ病院）が調律を始められていました。生徒は仮設の皆さんその他で五名、いずれも初めてお琴の前に座られた様子に見受けました。

まず琴に対する体の位置、右手の置き方と爪の持ち方、弦の弾き方（上側三本を一気に弾く）など一番基礎になることを教わり、今日の練習曲は「うれしい雛祭り」です。

初心者にとっては、取り組みやすい曲のようですが、まずメロディをゆっくりと弾いてみます。初めての方にとっては、やはり少し戸惑いがあるような手付きに見えましたが、それでもしぼらくすると、確実に「灯りをつけましょぼんぼりに」としっかりした音律が

◇俳句の会をはじめます 絵画の福永先生

（シルバークレッジ）が指導して下さいます。ご趣味のある方、初めての方も多数参加して下さい。会に出席を希望される方はセンターまでお申し出下さい。

開催日その他詳細は決まり次第センターに掲示します。

聞こえだしました。二時間たつともうメロディの三分の二は仕上がってきました。本当日に初日には上出来です。

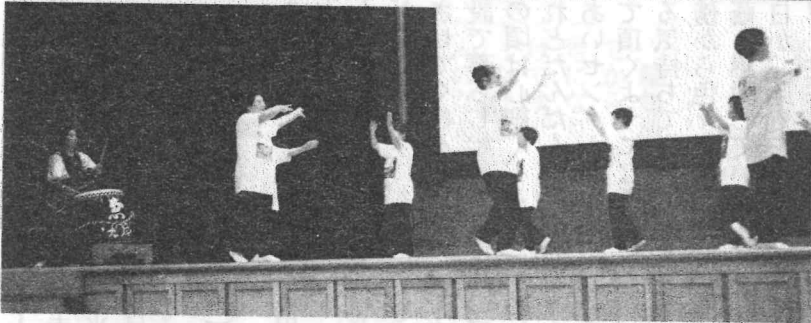
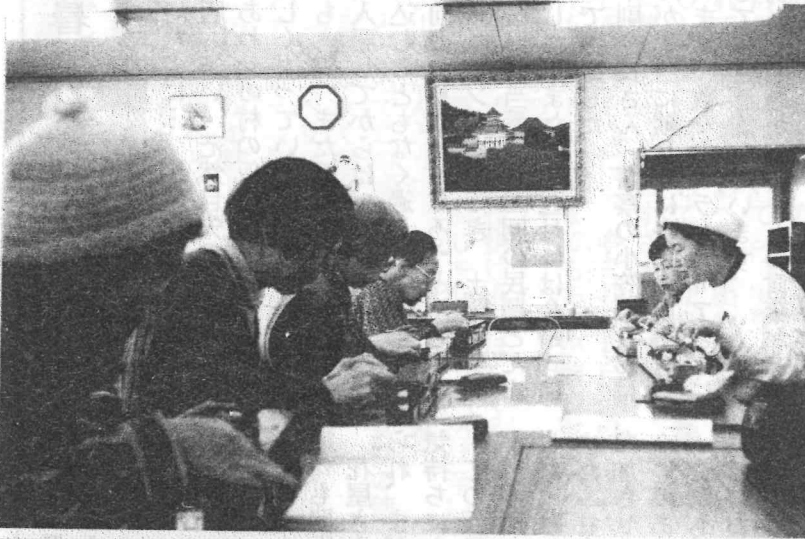
大正琴には琴伝流、琴城流、琴修会、琴心流と琴生流の五大流派があるそうですが、教えて頂くのは琴伝流です。もう暫くすればグループの皆さんの素敵な演奏が聴けるようになるでしょう。興味ある方参加して下さい。

### 民踊の会

民踊の会は月二回、毎月曜日午後一時から三時まで、センターで踊っています。お師匠さんは、飯田先生とおっしゃって、とても優しくユーモアのある方です。わかりやすいご指導でみんな楽しくレッスンに励んでいます。平均年齢七十歳以上の方々が、時には一緒に

に間違っって笑い合うなど、ストレスも何もすっかり吹っ飛んでしまします。この写真は昨年シルバークレッジの文化祭に招待されてホールの舞台上で日頃の成果を披露して華々しく？踊った楽しい想いでの一シーンです。

いつでも何処からでも始められます。皆さん誘い合っってぜひ民踊グループに参加して下さい。ご希望の方はセンターへお申し込み下さい。お待ちしております。



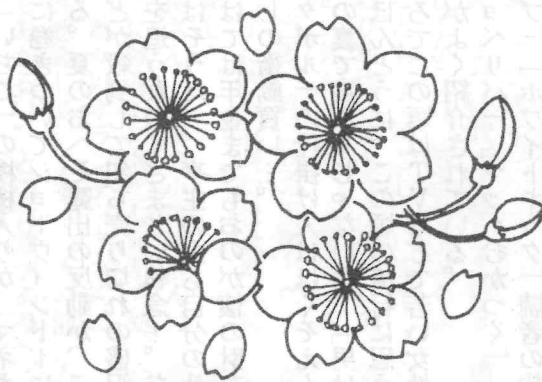
このところ空の色も光もずいぶん柔らかく感じるようになりました。今年は桜の開花が早いそうです。今回はぶらり散歩がてら訪れたい身近な花の名所、妙法寺川公園をご紹介します。

地下鉄「板宿」駅をおりて西へしばらく行くと、ゆるやかなカーブを描く妙法寺川、この川に沿って整備された河川敷公園に、四百本あまりの染井吉野が植えられ、上流から二の井橋、竹の花橋、三の井橋と三つの橋の間約五百メートル、大阪の造幣局ならぬ桜の通り抜けを楽しめる新名所です。

三の井橋から上流をみると、川面まで枝をのばして咲き乱れる、淡くて儂い薄紅色の花、高取山の緑を背景に絵心をそそるような美しさ、本当に桜は日本人の心の故郷だと思います。また四季を通じて子供の遊び場所、安全なゲートボール場でもあり、軽い運動を楽しみたい人には一周約1kmの快適なジョギングや散歩道としても最適です。

川の名のもとになっている妙法寺はずっと上流にあり、七百三十八年(天平十年)毘沙門天を、聖武天皇の勅願によって祀ったのが

始まりとされ、かつては七堂伽藍三十七坊を擁した広大な寺域であったといえます。平清盛が福原に都を移したとき、この地を京都の鞍馬にならって新鞍馬と称し、福原京の鎮守の地としたと伝えられていますが、今は淋しい位の感じがします。現在の本尊の毘沙門天(国重文)は藤原時代後期の作です。この妙



法寺川沿いには明光寺(通称「萩の寺」)があり、秋には萩の花が美しく咲き乱れ、同じく雀のお宿として知られる禅昌寺(こども桜や紅葉で有名)弓の名手、那須の与一を祀るお堂もあります。

交通 山陽電車「東須磨」駅下車南東へ五分、地下鉄「板宿」から南西へ五分

(I・O)

ふれあい ぜんざいの会

二月十一日(祝日)にふれあいセンターで「ぜんざいの会」が催されました。婦人方が奉仕に出られて、小豆を炊き、お餅を入れた美味しいぜんざいが出来上がり。お椀の湯気の向こうから、皆さんの美味しそうに召し上げる笑顔が浮かび、我々も大満足でした。

この時は「がんばろう神戸」の宮崎さんが連れてきた関東の女子大生が大いに活躍してくれました。その人たちが残した感想です。

◇土曜日のコーヒーサービスや、このぜんざいのサービス、みなさんがおいしい!ご馳走様と言って集まっている姿が、温かかったです。そういう場面でお手伝いできて良かったです。(内山 月子)

◇皆さんの笑顔や、優しさに心が洗われました。自分も人にそう思われるような人になりたいです。また神戸に来ます。(柴崎智恵子)

◇ボランティアと言われているけれど、こちらが仮設のみなさまにボランティアして頂きました。日頃出来ない経験をたくさんさせてもらいました。ありがとうございます。(玉岡 温枝)

◇みなさんの笑顔と言葉に今を生きる強さを感じました。その強さを少し分けていただけたように思います。それを東京でも生かして行きたいです、有り難うございました。(大川 晴子)

## 流行に思う

地下鉄のホームで女高生が、ハンバーグを紙に挟んで食べながら話し合っている。聞くともなしに耳を傾けたら「オイ」「アイツ」「ナッティナインジャー」とやりとりをしている。ときどき「ウソー」「ソーネン」「ホントー」など、意味不明の尻上がりの言葉が飛び交っていた。我々シルバード世代には、訳の判らぬことが多いが、彼女らは結構通じるらしく、キャツキャツ、ケラケラと笑っている。

あまり面白そうでつい口を挟んで、「あんたら、その靴下ゴムが切れているのか？」と尋ねたら、何処の国の人かと不思議そうな顔で、「何言うてんの、これルーズソックス言うねん」との返事が返ってきた。「アアーひととき流行ったレグウォーマーか？」と感嘆すると、「オッチャン（おじんでなかったのが救い）それ何んのこっちゃ」とのご託宣。物や言葉の流行はスピードをつけて、ころころ変わるものと感心した。

今年の冬は特に厳しく雪の降る日もあったが、これには服装を暖かく、肌にくく下着を完備して防寒に努めなければならぬ。最近若いOLや主婦連に「BABABA（ババ）シャツ」なる物がはやったそうだ。何のことはない、一時「オバンシャツ」として袖の長い、胸のところをかくした「ダサイ」シャツのことで、着るのは恥ずかしいが、結構暖かいので

そこそこ女性には愛用されていたが、今ではそれが大ぴらに市民権を得て、堂々と若い女性をターゲットとして、百貨店あたりで胸のふくらみが見えそうで見えない、イタリヤ製の刺繍をあしらったものが、人気を呼んでウン万円かウン千円か？とにかく飛ぶように売れたと言ふことである。

またこの頃腹巻が流行っている。若い女性向けに「いちご」の模様入りが、マネキン人形の腰に巻きついてシヨウウィンドーに飾られている。夏のおへそ露出の反動か、これもOLなどが殺到して忽ち売り切れの盛況。げに流行を追う女のすさまじい執念！。なるほどそれはそうだ。亭主の金も自分のサラリも、はては年金までもおのが懐の財布の中遠慮なしの衝動買い……。

プレタポルテの仕掛け人はほくそえんである。その裏で寅さんじゃないが、「男は辛いよ！」ほんとうに。この頃の流行に思う。ところどころこの頃はTVなどで若い女性の使う言葉がよく紹介されている。

「チョベリバ」「マツハむかつく」「MKファイブ」「ホワイトキック」読者の皆さんこの意味がお解りになりますか？「チョベリバ」とは超ベリバッドでえらく悪いこと、「MKファイブ」はマジに切れる五秒前（堪忍袋の緒が切れる？）、「ホワイトキック」はしらけると言う意味らしい。

言葉の起源はゆっくり考えてみて下さい。

### （転居のお知らせ）

このたび左記の方々が転居されました。新しい住居で元気に頑張ってください。敬称略

九棟二号 大田一夫・芳子（一月十八日）  
十三棟三号 石井佐智子（二月二十六日）  
三十八棟八号 藤本治男（二月二十三日）  
新住所 長田区四番町二丁目九一三〇  
七三棟二号 渡辺史人・嘉子  
新住所 須磨区白川台二丁目三七一三  
県住五一―一六七

編集後期 昨年三月に第一号を発行してから、よちよち歩きながら、今回で九号になりました。皆さんのご協力のおかげです。

ふれあい通信 を続けていくには皆さんのなまなましいお気持ちがかかるような記事を書くことが大切です。今度はじめて、住民の皆さんの生の声を載せさせて頂きました。皆さんのご感想をお聞かせ下さい。これからも引き続き住民の皆さんのご意見なり、ご感想など何でも結構ですからセンターの方へお寄せ下さい。掲載させて頂きます。

四月には自治会も新体制で発足する事になります。その節はまた是非新会長さんはじめ役員の皆さんの抱負をお聞かせ下さい。（福田 保）